

ごみの分別って本当に必要なの？

「分別の種類が多い」、「分別の仕方が分からない」、「分別するまでに洗う、乾すことが面倒だ」など、思ったことはありませんか。

分別をせずにごみを全て燃やしたり、埋めれば面倒ごとが少なく簡単に思えます。

では、もしも実際に全てのごみを燃やしたり、埋め立てするとどうなるのか、一緒に考えてみましょう。



ごみ分別が最終処分場の延命化につながっています

市の最終処分場は、平成3年に約8億2500万円をかけて建設されました。

当初、最終処分場は平成15年には、埋設処理が完了する見込みでしたが、私たち一人ひとりがごみの分別などに力を入れて取り組んだことで、これまで埋め立てていたごみの資源化が進み、現在でも最終処分場を利用できています。

ごみの受け入れが限界に達し、最終処分場を新たに建設する場合、多額の費用と労力が必要になります。

最終処分場を1日でも長く利用し、次世代に「豊かな自然と共に安心してらせるこばやし」を残すため、私たち一人ひとりが「混ぜればごみ、分ければ資源」を意識して、これからも分別に取り組みしましょう。



～6月は環境月間～ 豊かな自然を未来に残す 私たちにできること

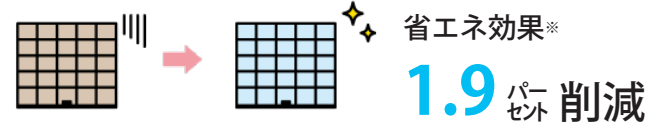
●問＝生活環境課 Tel 23-8122

エアコンを上手に使いましょう

これからの暑い時期、家のエアコンを上手に使う暑さを乗り切りましょう

※資源エネルギー庁 夏季の省エネメニュー（ご家庭の皆様）より

Point 1 目詰まりしたフィルターを清掃しましょう



Point 2 無理のない範囲で室内温度を上げましょう



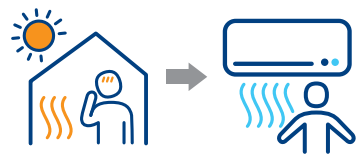
室内の冷やしすぎに注意し、無理のない範囲で室内温度を上げましょう。（記述の節電効果は室内温度を26℃から2℃上げた場合の数値）

①・②を実施した場合、なんと1年間で
5000円以上もの電気代削減効果が期待できます。

※19時頃の家庭の電力使用量に対する省エネ効果

Point 3 省エネも大事。健康も大事。

省エネは大事ですが、エアコンの温度を上げて熱中症になるなどの事例もあります。体感温度を快適にすることが何よりも大切です。室温だけではなく、風量や湿度も考えて、健康に過ごせるよう調整しましょう。



4月、市は環境省が提唱する、脱炭素に向けた国民運動である「デコ活」を宣言しました。

これは脱炭素（Decarbonization）とエコ（Eco）を組み合わせた言葉で、平成29年に宣言した「COOL CHOICE」や、令和4年の「ゼロカーボンシティこばやし」とあわせて、脱炭素などへの取り組みを進めていくことを宣言したものです。

現在、市は脱炭素などを実現するために、節水やLED照明の導

入、クールビズ・ウォームビズの推進といった身近なものから、公用車に次世代自動車を導入することや公共施設のZEB化の推進など、規模の大きなものまで幅広く取り組みを進めています。

6月は環境月間です。豊かな自然を守り続けるために私たちができる身近な取り組みを考えます。

※快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物

デコ活アクション

デ

電

気も省エネ断熱住宅

コ

こ

だわる楽しさエコグッズ

力

感謝の心食べ残しゼロ

ツ

つながるオフィステレワーク